

年頭にあたって



沼田市長
横山 公一

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年5月に沼田市長に就任以来「暮らしを実感できる文化的生活」、「豊かな等身大の沼田」の実現を目指し、全力を挙げて市政運営に取り組んでまいりました。

昨年は、記録的な豪雪や集中豪雨、火山の噴火など自然災害が多発し、行政としても備えることの大切さを再認識する年となりました。

一方、昨年本市出身の若い力がスポーツやテレビの世界で活躍し、元気を与えてくれました。また、富岡製糸場のユネスコ世界遺産への登録や来年のNHK大河ドラマで「真田丸」の放送の決定もあり、群馬への注目度が一層高まると思います。真田氏とのゆかりの深い本市としても

新年を迎えて



沼田市議会議長
大竹 政雄

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい平成27年の初春をお迎えのことと、市議会を代表し心よりお喜び申し上げます。

また、日ごろより、市政に対して温かいご理解と多大なご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

我が国の経済は、緩やかな回復基調にあつて、デフレからの脱却が図られつつあり、雇用と所得の増加によつて好循環が動き始めていると言われているようですが、その流れは一部の地域に留まり、地方の津々浦々まで届いてはおりません。

市制施行60周年を機に、今年こそ本市にも光明が当たるよう、新たな気持ちで市民一丸となり、まい進できますよう期待しているところであります。

また、社会情勢にあつても、世界に類を見ない急激な少子高齢化と人

「もうひとつの真田の舞台・沼田」として広く内外に発信してまいります。

また、本市は昨年4月の市制施行60周年に続き、2月には旧白沢村、旧利根村との合併10周年を迎えます。

これまでの本市発展は、諸先輩方をはじめ、市民皆さまのたゆまぬ努力と熱意によるものと深く敬意を表しますとともに、その歴史に恥じぬよう決意を新たに市政に取り組む所存であります。

今、全国的に地方創生の議論が活発になっています。今年は、地域の特性を生かした地域づくりや人口減対策などに総力を挙げて取り組むスタートの年になります。

本市としても、自然や観光のほか眠れる資源を存分に活用し、地域の活力を実感できる都市の実現に向け全力で取り組んでまいります。

今後とも、市議会との連携を密に英知を結集し、過去にとらわれない、新たな発想で未来に希望の持てる市政運営を職員一丸となつて進めてまいりますので、本年も変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年皆さまのご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

口減少という現実の前で、さまざまな制度が見直しを余儀なくされており、地方分権の光と影の両面をあわせ持つことを示し、諸課題も多く、市民福祉の改善には引き続き努力していく所存であります。

昨年は、異常気象により、これまでの経験や情報だけでは予測することのできない、自然の猛威を目の当たりにする被害が全国各地で発生し、本市でも、今までに経験のない記録的な豪雪に見舞われました。

こうした中、本市出身選手のアジア大会カヌー競技における活躍やプロ野球選手の誕生、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映決定など、将来を期待させる明るい話題もありました。地方分権が進む中で、地域づくりにおいては多様性が求められており、これまでの枠にはまった対応ではなく、今こそ議会と行政が知恵を出し合つて、沼田市としての独自性と、やる気を発揮しなければならな

いと感じております。

依然として厳しい社会環境ではありますが、皆さまのさらなるご支援とご協力をいただきますようお願いし、また、この一年が輝かしい年になりますように心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

迎春